

## 「自分のからだをもって、神の栄光を現わしなさい」

～私たちクリスチャンが神の栄光を現わすとは～

コリント人への手紙 第一 6章20節 2024.1.7 浜寺礼拝

### 1. 「あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。」

「贖い」— 代金を払って買い取ること。身代金を払って身受けすること。  
(束縛されている状態、又、囚われの状態からの解放を意味している)

ヘンリー・シーセン

「あがないという言葉は、奴隷としてつながれているものを解放するために、第三者が身代金を支払うことを意味している。」

マタイ 20：28

「人の子が来たのが、仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のための、贖いの代価として、自分のいのちを与えるためであると同じです。」

I ペテロ 2：24a

「そして自分から十字架の上で、私たちの罪をその身に負われました。」

ローマ 4：25a

「主イエスは、私たちの罪のために死に渡され、  
(私たちの罪の身代わりとして)

I テモテ 2：6

「キリストは、すべての人の贖いの代価として、ご自身をお与えになりました。これが時至ってなされたあかしなのです。」

「買い取られたのです」— 不定過去 (アオリスト) 受身

\* (過去のある時になされた一つの決定的行為を示し、現在もそれが継続していることを表わしている)

ローマ 6：16～18

「奴隷」 ギ デューロス

エペソ 6：5

「奴隷たちよ。あなたがたは、キリストに従うように、恐れおののいて真心から地上の主人に従いなさい。」

奴隷たちは、主人に対して全き服従の者であり、主人の財産、所有物でした。

また、私たちクリスチャンは、神の子どもともされました。

ヨハネ 1：12

「しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。」

### 2. 「ですから、自分のからだをもって、神の栄光を現わしなさい」

「自分のからだ」とは、私たちの外側の肉体だけではなく、私たちの内側をも含めた、私たちの人格の全てを表わしています。

「神の栄光」— 本来の意味は「重い」

具体的には、神が神であるが故にもつ尊厳、卓越性、完全性を表わしている。

#### ① 旧約において

詩篇 19：1

「天は神の栄光を語り告げ、大空は御手のわざを告げ知らせる」

出エジプト 24：16～17 シナイ山において

#### ② 新約において

ヨハネ 1：14

「ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。」

ヘブル 1：3a

「御子は神の栄光の輝き、また神の本質の完全な現われであり」

私たちが「神の栄光」を現わすとは、私たちクリスチャンが召された者として、神のご性質を現わす生き方をする事なのです。

I テサロニケ 2：11～12

「私たちは父がその子どもに対してするように、あなたがたひとりひとりに、ご自身の御国と栄光とに召してくださる神にふさわしく歩むように勧めをし、慰めを与え、おごそかに命じました。」

エペソ 4：1

「主の囚人である私はあなたがたに勧めます。召されたあなたがたは、その召しにふさわしく歩みなさい。」

A. 一つ目は、私たちが \_\_\_\_\_

Ⅰペテロ 1：15

「あなたがたを召してくださった聖なる方にならって、あなたがた自身も、あらゆる行ないにおいて聖なるものとされなさい。」

Ⅰテサロニケ 4：3

「神のみこころは、あなたがたが聖くなることです。」

Ⅰテサロニケ 4：7～8

B. 二つ目は、私たちが \_\_\_\_\_

エレミヤ 9：24

「誇る者は、ただ、これを誇れ。悟りを得て、わたしを知っていることを。わたしは主であって、地に恵みと公義と正義を行なう者であり、わたしがこれらのことを喜ぶからだ。」

Ⅰヨハネ 3：9～10

C. 三つ目は、 \_\_\_\_\_

ヨハネ 3：16

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」

ヨハネ 4：7～10

ルターは、この愛を「泉のように吹き出し、あふれゆく愛」と表現しています。

Ⅰヨハネ 4：11

「愛する者たち。神がこれほどまでに私たちを愛してくださったのなら、私たちもまた互いに愛し合うべきです。」

3. どの様な時に神の栄光を現わすことが可能なのか

Ⅰコリント 10：31

「こういうわけで、あなたがたは、食べるにも、飲むにも、何をするにも、ただ神の栄光を現わすためにしなさい。」

普段の生活の中にあっても、いつも全ての時に「神の栄光」を現わすことが求められているのです。

ガラテヤ 5：16

「\_\_\_\_\_。そうすれば、決して肉の欲望を満足させるようなことはありません。」

このみことばは、私たちが神の栄光を現わすための生き方を明らかに示しています。

A. 6：18には、神の栄光を現わさない否定的な面

「不品行を避けなさい」— 現在形命令「避け続けなさい」

「不品行」とは、私たちの内側にある性的な欲望です。性的な罪です。

肉の欲望です。

4. 6：20 後半のまとめ

私たちは、神のご性質である聖・義・愛にあふれた信仰生活を送ることをもとめられています。

マタイ 5：16

「このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良いい行ないを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。」

5. Ⅰコリント 6：20 のまとめ

「主イエス・キリストの奴隷」となった私たちは、私たちの生涯を通して、主人である方の栄光を現わすことを目指さなければなりません。

J.I. パッカー（聖書教理がわかる 94 章より）

「神の栄光は、神が罪びとを救う恵みの計画とわざの中に現されており、賛美をひき起こすものである。生活のすべての活動も、神に敬意と栄誉と喜びをささげるという目的をもって、つまり実践的レベルで神に栄光を帰すという目的をもって、取り組まなければならない。」